

# 艶やかな美人画 「絵は生きがい」

## 83歳の白井さん個展



作品を背に元気パワーの白井さん  
＝豊橋ハートセンター・ギャラリーで

83歳の男性が描いた、みずみずしい筆致の作品を紹介した「白井喜三郎・美人画展」が、豊橋ハ

ートセンター内のハートギャラリーで今月中旬まで開かれている。

白井さん＝豊川市御油町Ⅱは今年、83歳を迎えた。若いころから絵画が好きだったが、50歳代のころ勤務の余暇に刈谷市在住の日本画家に師事。定年後もアトリエに通い約10年間、みっちり勉強した。

その後、独自の感性による美人画をモチーフに、生涯テーマとして取り組んでいる。日本製のほつれなどデリケートな線は、針のような細筆で

一本一本ていねいに描く。一点仕上げるのに1カ月間を費やすという。根気の要る仕事だが大変とは思わない。

近隣の老人ホームで指導を行うほか、個展もエネルギッシュに行う。今展には6号から10号作品16点を披露している。日傘をさした美人の横顔や、うちわを片手に夕涼みの女性、客人にお茶を一服出す女性の姿など、艶(あで)やかなしぐさの美人たちがずらり。

「絵は私の生きがい。まだまだ元気で頑張り、楽しみながら描いていきたい」と白井さんは話している。

(星野のりこ)

東 愛 知 新 聞  
2006年(平成18年)12月5日(火曜日)